

高槻名誉市民を

語り継ぐ会会報

8号

平成 26 年 12 月 1 日

師走の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

11 月は今後の会の運営について、また、組織作りについて真剣に討議して参りました。組織作りに関しては来年度の根幹に関わる重大事項と考えております。今しばらく開示をお待ちください。

また、23 日には竹の内コミュニティーセンターにて 2 回目の展示会を開催いたしました。関係各位のご協力に感謝いたします。FB をお読みいただいている方以外にも広く広報していこうと考えております。(村上)

【コミセン祭りに参画する】-11 月 23 日-

11 月 23 日)晴天に恵まれた祝日の日曜日、高槻市竹の内町にある竹の内コミュニティーセンターにて、辻子三・竹の内コミュニティー協議会コミセン運営委員会主催のコミセン祭りに参画させていただきました。展示ブースを設けていただき、地域の皆様に当会の活動をご紹介することが出来ました。

地域柄か水害の一つ『大塚切れ』に非常に関心を示していただけました。濱田市長もお忙しい中、来賓でお見えになられました。



【高碓達之助翁の講演】-11 月 21 日-

東洋食品工業短期大学主催第 10 定例講演会で「貿易こそ最大の平和の使者～異色の外交家・高碓達之助の実像」について講演がありました。

幼少時代から企業家における考え方は『議論はシンプルであるべきだ。子どものような議論が正しい』が基礎であったとのこと。

前農相河野一郎翁の「高碓さんは、死ぬその日まで、政治家にならなかった人である。高碓さんは常に経済人としての立場で動いておられた」との評価が適切でしょう。

【琵琶演奏】-11 月 7 日-

高槻名誉市民で人間国宝の「山崎旭萃さん」の愛弟子奥村旭翠さんの琵琶演奏が伊勢寺で行われました。これは毎年高槻市観光協会の主催で行われる高槻観月会での催しで、演奏品目は「一の谷・茨木童子」でした。当日は素晴らしい満月で、その満月からは現世のすべてを覆い包み込み、満ちているようにも感じました。満月はうさぎの餅つきのように昔の故郷を思い出しました。



速報！！

現在 FB『高槻名誉市民を語り継ぐ会』で“高槻名誉市民の足跡を訪ねて”連載中。磯村翁 8 回掲載

■名言集 (村上三島談)

指導者の役割は「道路標識」

どう感じたかなどについては他の人の意見を必要としない。指導者の役目は道路標識のようなものでいいのだ。弟子を引っ張る必要はない。